



YASKAWA



株主のみなさまへ

第93期 中間ご報告

平成20年3月21日 ▶ 平成20年9月20日

機械と人間の共生へ — Quality & Beauty

株式会社 安川電機

(証券コード:6506)

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

第93期中間期（平成20年3月21日から平成20年9月20日まで）における当社及び子会社、関連会社を含む当社グループの業績について、概要をご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、米国に端を発する金融市場の混乱、原油・資材価格の高騰や円高の進行などにより景気の減速感が強まってまいりました。

このような環境下で、当社グループでは、昨年度から投入している強い新製品をもって、強い市場、強い顧客をターゲットに営業活動を強化してまいりました。

こうした取組みにより、産業用ロボットやアジア市場向けが伸長し、売上高1,894億75百万円（前年同期比3.1%増）、経常利益166億97百万円（同1.2%減）、中間純利益95億14百万円（同1.6%減）と、売上高は中間期として過去最高となりました。利益については円高によるマイナスの影響を受け、前年同期比微減となりましたが、従来予想は上回りました。

以上のような業績をふまえ、中間配当につきましては、前期の中間配当より1株につき1.5円増配し、6.5円とさせていただきます。

セグメント別の状況はつぎのとおりです。

セグメントの名称	売上高（前年同期比）	営業利益（前年同期比）
モーション コントロール	909億90百万円 (45億41百万円増)	102億80百万円 (1億80百万円減)
ロボット	638億61百万円 (36億25百万円増)	41億1百万円 (58百万円増)
システム エンジニアリング	197億41百万円 (25億58百万円減)	6億92百万円 (1億5百万円減)
情報	111億61百万円 (1億1百万円減)	3億95百万円 (2億6百万円増)
その他	37億20百万円 (1億75百万円増)	3億91百万円 (5億82百万円減)

当下期は、世界経済の減速や為替の急激な変動により、経営環境がさらに悪化している厳しい状況ではありますが、当社グループは、以下の施策を実施することにより、業績達成に努めてまいります。

- ・ 昨年度より投入している強い新製品による売上・利益の拡大を加速します。
ACサーボモータ：当下期から新製品の本格的な海外展開によるシェアの拡大
インバータ：新製品の品揃え強化による世界的省エネルギー需要の取り込み
産業用ロボット：自動車業界での生産ライン小型車シフト対応による市場開拓

- ・ 当上期に高水準の受注を計上した液晶業界向けのロボットや鉄鋼業界向けの電機品等を効率的に生産し、売上・利益を確保します。
- ・ 中国・アジア地域での拡販に努め、次の新興市場であるインドやブラジル等へ事業展開を推進します。
- ・ 環境・エネルギー問題や少子高齢化に伴う労働力不足等の問題の解決に貢献すべく、当社の自動化・省エネルギー技術の応用展開や新世代ロボット等の新規事業に積極的に取り組み、スピーディに事業化を進めます。
- ・ 従業員一人ひとりが常に高い目標に向かって挑戦し続ける強い人材づくりに引き続き取り組みます。
- ・ 引き続き今後の成長に必要な戦略的投資を確実に行うとともに、最近の経営環境の急激な変化に即応すべく、徹底したコスト管理に努めます。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年11月

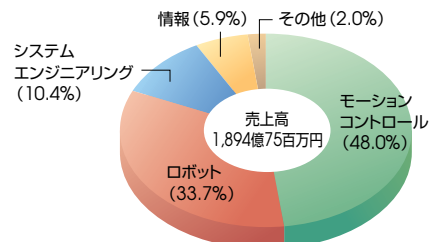


取締役社長

利島 康司

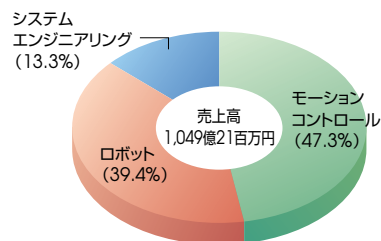
第93期中間期 売上高構成比率

● 連結売上高



営業利益：158億30百万円
 経常利益：166億97百万円
 中間純利益：95億14百万円

● 単独売上高



営業利益：55億59百万円
 経常利益：104億45百万円
 中間純利益：74億4百万円

モーション コントロール



主要製品

ACサーボモーター・制御装置	省エネモーター・インバータ
汎用インバータ	高周波インバータ
工作機械用AC主軸モーター・制御装置	プログラマブルコントローラ
リニアモーター・制御装置	マシンコントローラ
DCサーボモーター・制御装置	NCシステム
高速モーター	ビジョンシステム
小形精密モーター	その他
複合モーター	

ACサーボ・コントローラは、電子部品業界や液晶業界向けの需要増加が売上を牽引しました。また、インバータは、省エネルギー関連需要の増加や海外のインフラ投資継続が売上に寄与し、為替の逆風を受けながらもほぼ前年同期並みの実績となりました。

ロボット



主要製品

アーク溶接ロボット	特殊アクチュエータ
スポット溶接ロボット	クリーン・真空内搬送システム
塗装ロボット	ロボット応用FAシステム
ハンドリングロボット	医療・福祉サービスロボット
半導体・液晶製造装置用クリーン・真空ロボット	その他

自動車業界向けを中心とする溶接、ハンドリングロボット等は欧州向けが伸長し、売上増に貢献しました。一方、半導体製造装置業界向けは、顧客の投資抑制局面が長期化したことの影響を受けました。また、液晶業界向けについては、売上への寄与は下期以降になりますが、過去最高の受注を獲得しました。

システム エンジニアリング



主要製品

鉄鋼プラント用電機システム	高圧開閉装置
上下水道用電気計装システム	コントロールセンタ
道路設備電源システム	システム用制御盤
環境プラント用電機システム	電力用配電機器
パワーメカトロシステム	永久磁石内蔵形回転機
港湾荷役用クレーン制御システム	中大形誘導電動機
紙・フィルム・繊維製造装置・	中形発電機及び発電装置
印刷機械用可変速ドライブシステム	その他産業用回転機
システム情報制御機器	その他
中容量高圧インバータ	

鉄鋼業界向けは概ね堅調を持続し受注も好調でしたが、前年同期と比較して当期は売上計上の谷間となりました。

情報・その他



主要製品

情報	その他
フロッピーディスクドライブ	物流サービス
二次元コードマーキング・読取装置	人材派遣
情報処理ソフト及びサービス	その他
OA機器	
その他	

売上はほぼ前年同期並みとなりましたが、採算構造の改善により増益となりました。

高性能ベクトル制御インバータ A1000

省エネルギー対策機器として注目されるインバータ市場のニーズに応え、V1000、J1000に続く新製品第3弾として、A1000を発売しました。

他社に先駆けて誘導モータはもちろん、同期モータの両方を駆動することができる“安川インバータのエース”「A1000」は、1000シリーズ最高クラスの機能、性能、及びコストパフォーマンスを実現し、市場のあらゆるニーズにお応えします。

空調システム、ファン・ポンプをはじめ、より高い性能を求められる用途において幅広くご利用いただくことで、CO₂削減に貢献してまいります。



7軸アーク溶接最適化ロボット MOTOMAN-VA1400

当社のロボット出荷台数は好調に推移し、「アーク溶接用途ロボット」は世界トップシェアを維持しています。従来からの

6軸タイプに加え、世界初となる7軸タイプの新形アーク溶接最適化ロボットMOTOMAN-VA1400を市場投入しました。

このロボットの7軸制御を活用することで、今まで以上の生産性向上、設備面積の削減、溶接設備の簡素化のニーズにお応えしてまいります。

MOTOMAN-VA1400
構造上の特長

アーム部

- 溶接用のケーブルやホース類をアーム内に収納可能
- 溶接ワイヤの送給装置の最適位置への取り付けによるコンパクト構造を実現

トーチ部

- 空冷トーチに加え、水冷トーチ、サーボトーチも使用可能

ベース部

- 溶接アースケーブル、ガス用・エア用ホースなどをベース部に内蔵し、更なる接近性向上が可能
- 設置方法は床置き、壁掛け、天吊りタイプを準備

新構造（7軸目）

- 7軸構成でロボット姿勢の自由度を飛躍的に向上
- 常時最適姿勢の確保で高品質溶接を実現
- 干渉レスで高密度配置が可能



パネル一体形マシンコントローラ MP2500

パネル一体形マシンコントローラMP2500の性能向上(リニューアル)とフレキシビリティをご提供するため新機種を拡充し、2008年9月から販売開始しました。コントローラのセットアップからメンテナンスまで、簡単操作で便利な機能をご提供する標準画面も新たに開発し、全機種に標準搭載しています。

パネル一体形

- コンピュータ処理速度を向上(従来比2.8倍)
- ユーザーメモリ領域を拡大(従来比約2倍)

パネル分離形

- パネル部とコントローラ本体部を最大10m分離配置できるタイプ
- オプションモジュールを搭載できるスロット付き
- 画面サイズを2種類(12.1インチ、10.4インチ)準備

マシンビジョンシステム MYVIS YV260

半導体、FPD、電子部品業界などの製造装置において、加工する対象物(ワーク)の位置決めを行うために画像認識用マシンビジョンシステムは必要不可欠な製品であり、画像認識処理の高速・高精度化のニーズが高まっています。これにお応えするため、高解像度カメラ(メガピクセルカメラ)に対応し、複数台のカメラ画像を取り込むことができ、高速で高機能な画像認識が可能なMYVIS YV260を開発し、販売開始しました。当社製品との組合せにより、省スペース・省配線のアライメント(画像処理によるワークの位置補正)システムを構築できます。



オープンモーションネットワーク「MECHATROLINK-Ⅲ」対応製品を続々新発売

産業機械装置では、近年、一層の生産性向上や生産ラインに合わせた柔軟なシステム対応が求められています。MECHATROLINK-Ⅲは、これらのニーズにお応えするために、標準化団体であるMECHATROLINK協会が仕様を策定して公開した新しいオープンモーションネットワークです。このリアルタイム性に優れた高機能なネットワークと当社メカトロ製品を組み合わせることにより、最速で最高性能をもつモーションシステムをオープンな環境で実現できることを強みとして、グローバルシェアアップを図ってまいります。

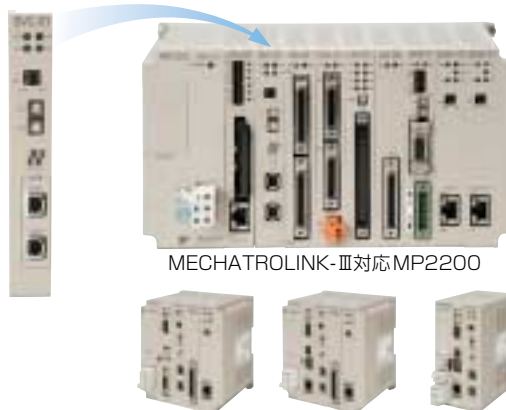
ACサーボドライブ Σ -Vシリーズ



MECHATROLINK-Ⅲ通信指令形

昨年度発売した業界最高性能のACサーボドライブ Σ -Vシリーズに、オープンモーションネットワークMECHATROLINK-Ⅲ対応機種をラインアップしました。通信速度100Mbps、最速伝送周期125 μ s、最大伝送距離(局間)75mが可能となり、機械・システムの動作を今まで以上に高速化できると同時に、大規模システムへの適用が容易になります。規格は、半導体・液晶製造装置への適用を考えてSEMI規格“F47”(AC200V入力タイプ)に対応しました。

マシンコントローラMP2000シリーズ



MECHATROLINK-Ⅲ対応MP2000

MECHATROLINK-Ⅲ対応
MP2300 MP2310 MP2300S

国内シェアNo.1の実績をもつMP2000シリーズに装着することで、MECHATROLINK-Ⅲに接続できるモーション制御モジュールSVC-01を開発しました。従来、制御の高速化に追いつかず、パルス列やアナログで制御し、ネットワーク化できなかった機械・システムにも適用が可能で、生産性を格段に向上します。高速・高応答性が必要な装置で、サーボ制御軸数の多い機械に最適です。

安川情報システム株式会社

携帯電話のデータのコピーや記録を目的とした キオスク端末開発

携帯電話販売店での携帯電話のデータのコピーや記録を目的としたキオスク端末を開発しました。

携帯電話の故障や紛失で大切な電話帳や画像データを失ってしまうことはありませんか？ このキオスク端末により、携帯電話販売店にて、お客様がご自分でタッチパネル操作を行い、携帯電話の大切な情報のバックアップを保存したり、機種変更によるデータを移行したりすることが簡単にできるようになります。

当社は、このキオスク端末を多くご採用いただき、みなさまにご利用いただけるよう拡販に努めてまいります。



キオスク端末

株式会社 ワイ・イー・データ

暗号化ポータブルHDDを販売開始

データの交換にあたってのセキュリティ対策の強化が求められているニーズに対応した手のひらサイズ2.5インチ暗号化ポータブルHDD「YD-8V54」を開発し、販売を開始いたしました。

この製品は、HDDに自動暗号化モジュールを組み込んだもので、USBケーブルでPCにつなぐだけでHDDに保存されるデータが自動的に暗号化されます。セキュリティ対応商品として、今後の市場拡大が期待されます。

なお、この製品は、当社のデータ復旧サービスのセキュリティアップのための返却メディアとしても使用しています。



暗号化ポータブルHDD「YD-8V54」

TOPICS

1

液晶ガラス基板搬送用ロボット 「MOTOMAN-CDL3000D」がADYグランプリを受賞

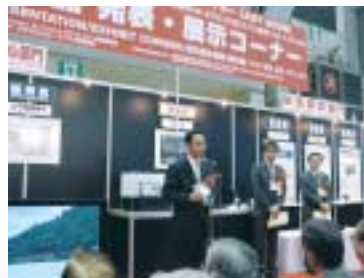
2008年4月16～18日、東京ビッグサイトで開催された第18回ファインテックジャパンに当社製品を出展しました。これは液晶テレビなどに代表される薄形パネル表示器の製造装置や部材メーカーが一堂に会して行われる薄形パネル業界最大の展示会です。当社展示ブースでは、液晶パネルの素材となる3m角のマザーガラスを装置間で搬送するロボットMOTOMAN-CDL3000Dの迫力ある実機展示とデモ動作を行いました。

また、このロボットは展示会初日に行われた第13回アドバンスト・ディスプレイ・オブ・ザ・イヤー（ADY2008）の製造装置部門でグランプリを受賞しました。このたびの受賞は、第10世代液晶ディスプレイの製造に用いられるクリーンルーム対応ロボットを生産・普及させ、業界の発展に多大な貢献をしたことを評価していただいたものです。

今後とも社会のニーズに合致したロボットを開発・提供していくことで、人々の豊かな暮らしに貢献してまいります。



安川ブースのMOTOMAN-CDL3000D展示



ADY表彰式

TOPICS

2

上海交通大学と連合実験室を開設

当社は、上海交通大学（中国上海市）と、同学内に“上海交通大学-安川電機 サービスロボット&メカトロニクス連合実験室”（以下、連合実験室）を開設し、2008年8月29日に開設式を行いました。上海交通大学は中国屈指の理工系大学で、当社はこれまでも産業用ロボットなどを通じて長年協力関係にありました。連合実験室では、サービスロボット分野の共同研究、成果の技術実証を行い、アプリケーション分野での研究をさらに進めるとともに、メカトロニクス技術者の育成を支援してまいります。



開設式（契約書署名の交換）

TOPICS

3

ドイツ「ハノーバーメッセ2008」で、グローバルに展開する安川をPR

安川ブースの
小倉祇園太鼓ロボット安倍元首相と
当社津田ロボット事業部長

2008年4月21～25日、ドイツ・ハノーバーにおいて世界最大級の産業見本市である「ハノーバーメッセ2008」が開催されました。2007年にドイツのメルケル首相から、当時の安倍首相に依頼があり、日本がパートナー国となりました。日本貿易振興機構（JETRO）を事務局とした日本企業の出展が企画され、当社も参加しました。

当社ブースでは、小倉祇園太鼓ロボット「MOTOMAN-DIA10」「MOTOMAN-HP3L」と獅子舞ロボット「MOTOMAN-IA20」を展示、来場者の注目を集めました。開催初日には安倍晋三元首相が当社ブースをご訪問になるなど、多くのお客様においていただき、地元TVや新聞でもとり上げられ、当社の高い技術力をハノーバーから発信できました。今後も「グローバルに展開する安川」を世界に発信してまいります。

連結財務諸表（要約）

● 中間連結貸借対照表（平成20年9月20日現在）（単位：百万円）

資産の部		負債の部	
流動資産	211,637	流動負債	141,572
現金及び預金	12,055	支払手形及び買掛金	74,854
受取手形及び売掛金	107,486	短期借入金	26,302
有価証券	20	未払費用	19,083
たな卸資産	65,769	その他	21,331
繰延税金資産	8,091	固定負債	41,049
その他	19,056	長期借入金	6,629
貸倒引当金	△ 842	退職給付引当金	33,048
固定資産	85,619	役員退職慰労引当金	225
有形固定資産	41,386	その他	1,146
建物及び構築物	18,270	負債合計	182,622
その他	23,116	純資産の部	
無形固定資産	6,763	株主資本	106,581
投資その他の資産	37,469	資本金	23,062
投資有価証券	18,938	資本剰余金	18,653
繰延税金資産	13,812	利益剰余金	65,243
その他	5,741	自己株式	△ 376
貸倒引当金	△ 1,022	評価・換算差額等	2,322
		その他有価証券評価差額金	923
		繰延ヘッジ損益	△ 0
		為替換算調整勘定	1,399
		少数株主持分	5,730
		純資産合計	114,635
資産合計	297,257	負債・純資産合計	297,257

● 中間連結損益計算書（単位：百万円）

自平成20年3月21日 至平成20年9月20日	
売上高	189,475
売上原価	135,897
売上総利益	53,578
販売費及び一般管理費	37,748
営業利益	15,830
営業外収益	1,811
受取利息	85
受取配当金	276
為替差益	579
持分法による投資利益	483
雑収入	386
営業外費用	944
支払利息	482
雑支出	462
経常利益	16,697
特別利益	37
固定資産売却益	3
投資有価証券売却益	3
その他	30
特別損失	281
固定資産廃却損	91
その他	189
税金等調整前中間純利益	16,452
法人税、住民税及び事業税	6,788
法人税等調整額	△ 79
少数株主利益	229
中間純利益	9,514

● 中間連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

自平成20年3月21日 至平成20年9月20日											
	株 主 資 本					評 価 ・ 換 算 差 額 等				少 数 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	為 替 換 算 調 整 勘 定	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		
平成20年3月20日残高	23,062	18,652	56,988	△ 359	98,343	1,607	△ 10	921	2,518	5,592	106,454
中間連結会計期間中の変動額											
剰余金の配当			△ 1,259		△ 1,259						△ 1,259
中間純利益			9,514		9,514						9,514
自己株式の取得				△ 19	△ 19						△ 19
自己株式の処分		0		2	3						3
連結子会社増加による増加			425		425						425
持分法適用会社減少による減少			△ 425		△ 425						△ 425
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)						△ 683	9	477	△ 195	137	△ 58
中間連結会計期間中の変動額合計	-	0	8,254	△ 17	8,238	△ 683	9	477	△ 195	137	8,180
平成20年9月20日残高	23,062	18,653	65,243	△ 376	106,581	923	△ 0	1,399	2,322	5,730	114,635

連結財務諸表（要約）

● 中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

自平成20年3月21日 至平成20年9月20日	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	16,452
減価償却費	3,949
投資有価証券売却益	△ 3
売上債権の増減額	1,540
たな卸資産の増減額	△ 7,222
仕入債務の増減額	268
法人税等の支払額	△ 8,877
その他	2,706
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,814
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産等の取得による支出	△ 4,245
有形固定資産等の売却による収入	22
投資有価証券等の取得による支出	△ 2,016
投資有価証券等の売却による収入	8
その他	△ 111
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,342
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	1,302
長期借入による収入	621
長期借入金の返済による支出	△ 2,873
配当金の支払額	△ 1,259
少数株主への配当金の支払額	△ 98
その他	△ 15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,324
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 100
現金及び現金同等物の増減額	47
現金及び現金同等物の期首残高	11,864
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加	1
現金及び現金同等物の中間期末残高	11,913

単独財務諸表（要約）

● 中間単独貸借対照表（平成20年9月20日現在）（単位：百万円）

資産の部		負債の部	
流動資産	113,643	流動負債	80,656
現金及び預金	4,083	支払手形	5,391
受取手形	5,229	買掛金	44,606
売掛金	55,987	短期借入金	3,555
たな卸資産	27,087	未払費用	10,636
繰延税金資産	2,400	未払法人税等	2,886
その他	20,353	その他	13,578
貸倒引当金	△ 1,497	固定負債	30,565
固定資産	73,012	長期借入金	5,435
有形固定資産	25,169	退職給付引当金	24,589
無形固定資産	4,668	長期未払金	540
投資その他の資産	43,174	負債合計	111,221
繰延税金資産	10,588	純資産の部	
その他	33,527	株主資本	74,504
貸倒引当金	△ 941	資本金	23,062
		資本剰余金	18,498
		資本準備金	18,491
		その他資本剰余金	7
		利益剰余金	33,222
		その他利益剰余金	33,222
		繰越利益剰余金	33,222
		自己株式	△ 279
		評価・換算差額等	930
		その他有価証券評価差額金	930
		純資産合計	75,434
資産合計	186,656	負債・純資産合計	186,656

● 中間単独損益計算書（単位：百万円）

自平成20年3月21日 至平成20年9月20日	
売上高	104,921
売上原価	81,799
売上総利益	23,122
販売費及び一般管理費	17,563
営業利益	5,559
営業外収益	5,297
受取利息・配当金	5,099
雑収入	198
営業外費用	411
支払利息	148
雑支出	263
経常利益	10,445
特別利益	569
特別損失	226
税引前中間純利益	10,788
法人税、住民税及び事業税	3,181
過年度未払法人税等戻入額	△ 214
法人税等調整額	417
中間純利益	7,404

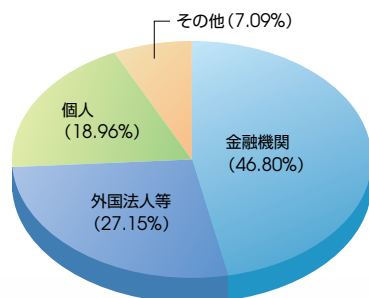
株式の状況 (平成20年9月20日現在)

発行可能株式総数 …………… 560,000 千株
 発行済株式の総数 …………… 252,331 千株
 株 主 数 …………… 22,189 名

主要大株主	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	17,868 千株	7.09%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11,467 千株	4.55%
株式会社みずほコーポレート銀行	9,473 千株	3.76%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井信託銀行退職給付信託口)	7,970 千株	3.16%
明治安田生命保険相互会社	7,967 千株	3.16%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4C)	6,854 千株	2.72%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分・株式会社福岡銀行退職給付信託口)	6,375 千株	2.53%
ピービーエイチルックスフィデリティファンズジャパンファンド	4,268 千株	1.69%
日本生命保険相互会社	4,247 千株	1.69%
株式会社西日本シティ銀行	3,432 千株	1.36%

(注) 出資比率は、自己株式を控除して算定しております。

所有者別株式分布状況

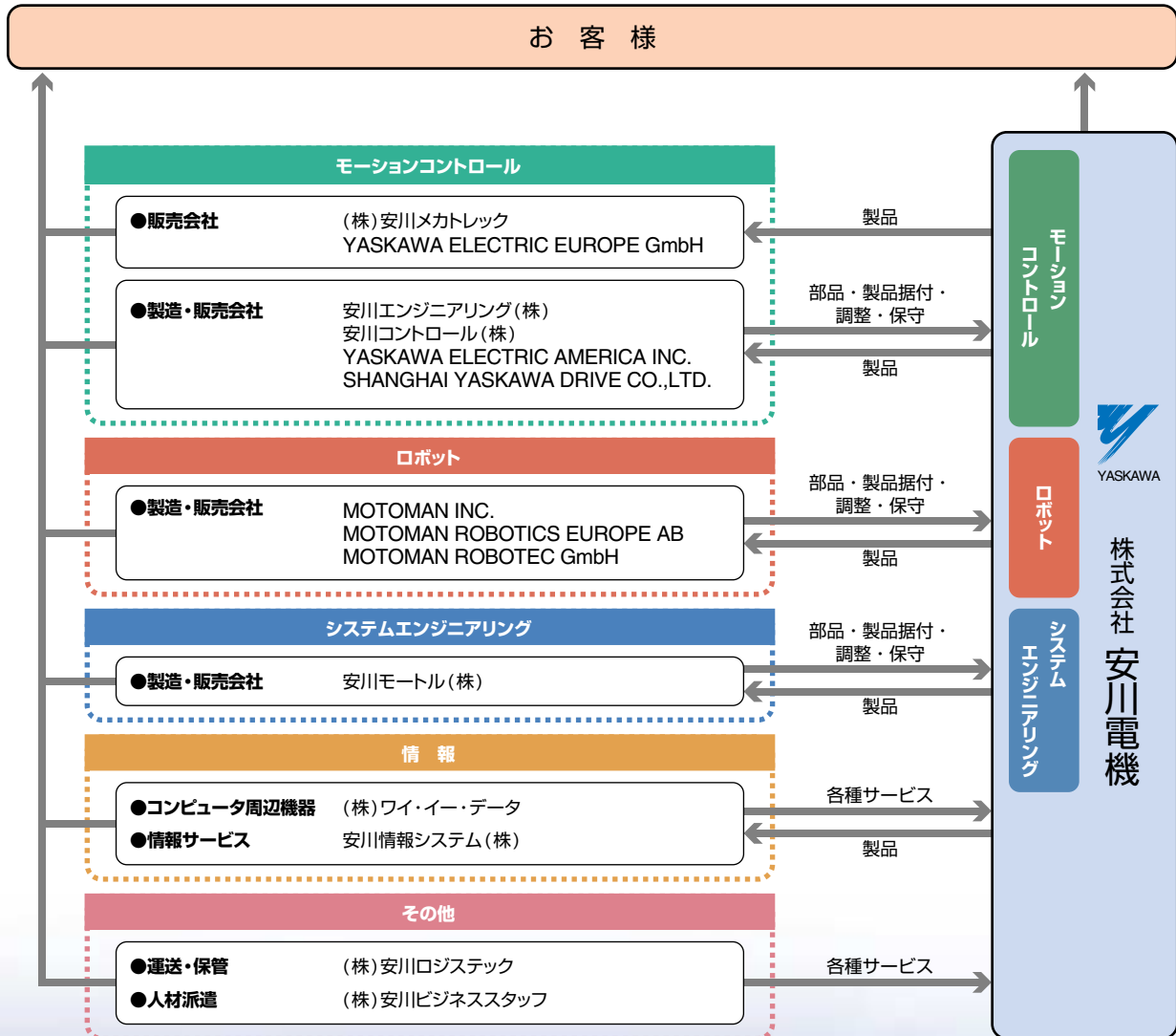


役員 (平成20年9月20日現在)

取締役会長	中山 眞
取締役社長	利島 康司
取締役副社長	武井 紘一
常務取締役	鬼頭 正雄
常務取締役	岩田 定廣
常務取締役	沢 俊裕
取締役	佐藤 光昭
取締役	宮原 範男
取締役	清水 喜文
取締役	宇佐見 昇
取締役	後藤 英樹
取締役	津田 純嗣
取締役	中村 公規
取締役	小笠原 浩
取締役	本松 修
取締役	村上 周二
取締役	南 善勝
常任監査役(常勤)	堀田 忠和
監査役(常勤)	実松 敏文
監査役	江口 宏
監査役	三井 康誠

当社グループの状況

当社グループは、当社を中核として子会社 80 社及び関連会社 20 社（平成 20 年 9 月 20 日現在）により構成され、「モーションコントロール」「ロボット」「システムエンジニアリング」「情報」「その他」の各部門の様々な分野において、製造、販売、据付、保守、エンジニアリングなどの事業展開を行っております。



(注) 上記の会社はすべて連結子会社であり、主要な会社のみ表示しています。
株式会社 ワイ・イー・データ及び安川情報システム株式会社の2社は東京証券取引所第2部に上場しています。

会社の概要 (平成20年9月20日現在)

商号 株式会社 安川電機

英文社名 YASKAWA Electric Corporation

設立 大正4年7月16日

従業員 8,579名(連結) 2,840名(単独)

事業所 本社 〒806-0004
北九州市八幡西区黒崎城石2番1号
電話(093) 645-8801

東京支社 〒105-6891
東京都港区海岸一丁目16番1号
電話(03) 5402-4502

名古屋支店 〒450-0002
名古屋市中村区名駅三丁目25番9号
電話(052) 581-2761

大阪支店 〒530-0003
大阪市北区堂島二丁目4番27号
電話(06) 6346-4500

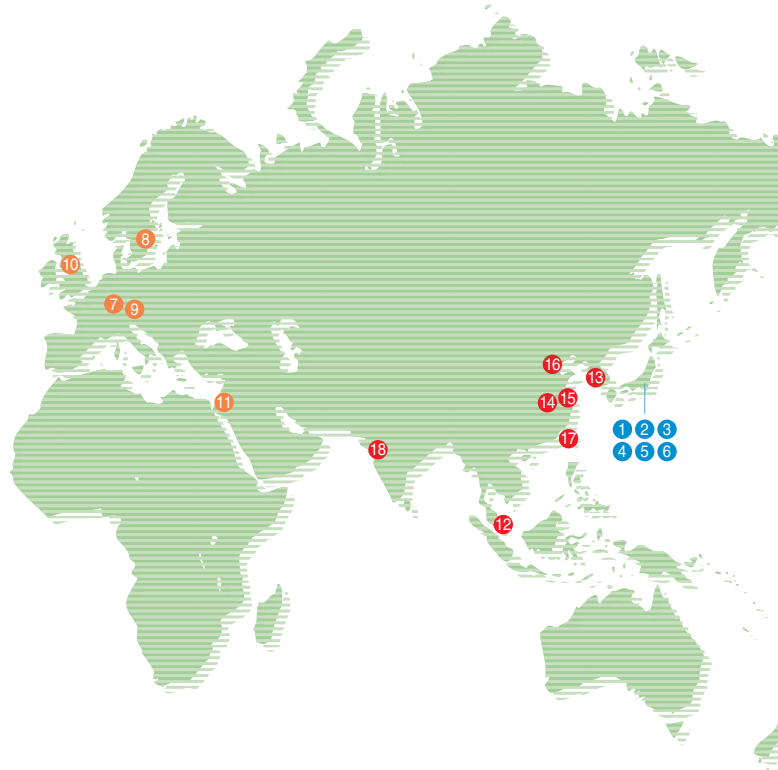
九州支店 〒810-0001
福岡市中央区天神四丁目1番1号
電話(092) 714-5331

工場等 八幡西事業所・八幡東事業所・行橋事業所
入間事業所・小倉事業所

国内主要関連会社

JAPAN

- 1 株式会社 ワイ・イー・データ
電算機周辺・端末機器の製造・販売ならびに
Ontrack (オントラック) データ復旧サービス
- 2 安川情報システム株式会社
計算処理受託・ソフトウェア開発ならびにシステム機器販売
- 3 安川コントロール株式会社
電気機械器具及びその部品の製造及び販売
- 4 安川エンジニアリング株式会社
電気機械設備の保全・整備及び技術指導
- 5 株式会社 安川ロジステック
製品の保管・輸送等の物流サービス
- 6 安川モートル株式会社
電動機、発電機及び電動機応用製品の設計・製造・販売



海外主要関連会社

EUROPE

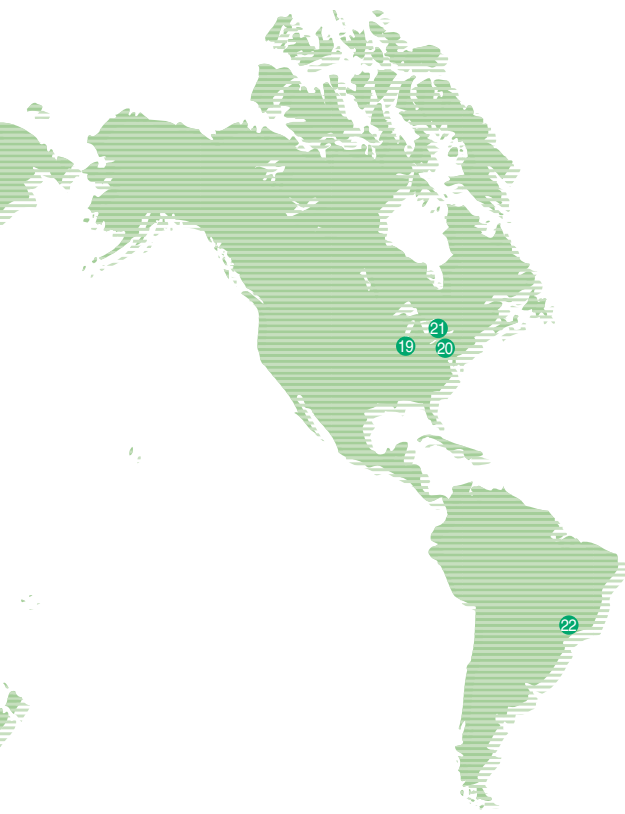
- ⑦ YASKAWA ELECTRIC EUROPE GmbH (ドイツ)
電気機器の輸入・製造・販売・サービス
- ⑧ MOTOMAN ROBOTICS EUROPE AB (スウェーデン)
ロボット及びロボットシステムの製造・販売・サービス
- ⑨ MOTOMAN ROBOTEC GmbH (ドイツ)
ロボット及びロボットシステムの製造・販売・サービス
- ⑩ YASKAWA ELECTRIC UK LTD. (イギリス)
インバータの製造・販売・サービス
- ⑪ YASKAWA EUROPE TECHNOLOGY LTD. (イスラエル)
モーションコントロール製品の開発及び製造

ASIA

- ⑫ YASKAWA ELECTRIC (SINGAPORE) PTE. LTD. (シンガポール)
電気機器の輸入・販売・サービス
- ⑬ YASKAWA ELECTRIC KOREA CORPORATION (韓国)
電気機器の輸入・販売・サービス
- ⑭ YASKAWA ELECTRIC(SHANGHAI) CO., LTD. (中国)
電気機器の輸入・販売・サービス
- ⑮ SHANGHAI YASKAWA DRIVE CO., LTD. (中国)
電気機器の製造・販売
- ⑯ SHOUGANG MOTOMAN ROBOT CO.,LTD.(中国)
ロボット及びロボットシステムの製造・販売・サービス
- ⑰ YASKAWA ELECTRIC TAIWAN CORPORATION (台湾)
電気機器の輸入・販売・サービス
- ⑱ MOTOMAN MOTHERSON ROBOTICS LTD. (インド)
ロボット及びロボットシステムの販売・サービス

AMERICA

- ⑲ YASKAWA ELECTRIC AMERICA INC. (アメリカ)
電気機器の輸入・製造・販売・サービス
- ⑳ MOTOMAN INC. (アメリカ)
ロボット及びロボットシステムの製造・販売・サービス
- ㉑ YASKAWA MOTOMAN CANADA, LTD. (カナダ)
ロボット及びロボットシステムの販売・サービス
- ㉒ YASKAWA ELÉTRICO DO BRASIL LTDA. (ブラジル)
電気機器の輸入・製造・販売・サービス



株 主 メ モ

事業年度	毎年3月21日から 翌年3月20日まで	株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
定時株主総会	6月	同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(配当金受領) 株主確定日	毎年3月20日(期末配当金) 毎年9月20日(中間配当金)	(郵便物送付先) 電話照会先	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(フリーダイヤル)0120-288-324
公告掲載新聞	日本経済新聞	同 取 次 所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
上場金融商品取引所	東京・福岡		

お知らせ

株主名簿管理人の事務センター移転に伴い、下記のとおり郵便物送付先が変更となります。

	平成20年12月30日まで	平成21年1月5日より
郵便物送付先	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 (フリーダイヤル)	0120-288-324 (変更ありません)	

※平成21年1月に予定されております株券電子化により、株式に関するお手続きに変更がある場合がございますので、ご注意ください。詳しくは、上記「電話照会先」にお問い合わせください。

なお、証券会社等をご利用の場合は、住所変更や買取請求等は引き続きご利用の証券会社等へご連絡願います。未払配当金については、上記「電話照会先」にお問い合わせください。

ホームページのご案内

下記の当社ホームページにて、決算情報やニュースリリースを随時ご提供いたしております。

<http://www.yaskawa.co.jp/>



YASKAWA

株式会社 安川電機



●古紙を含んだ再生紙を使用しています。
●環境にやさしい植物性大豆油を使用しています。